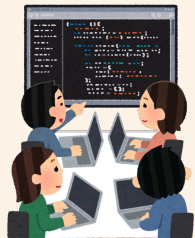


2026年度 SSH特設科目「SSII」

【第7回】 各自の研究活動

2026年6月11日（木）



専門的課題研究のイメージ

STEP1

研究テーマを決める

STEP2

リサーチクエスチョンを導く

STEP3

仮説を立てる

STEP4

適切な研究方法を選ぶ

中間目標

研究計画書を作成する

STEP5

調査・実験を実施する

STEP6

結果をまとめて考察し、結論を導く

STEP7

研究内容をまとめ、発表する

より高次のRQへ

高1
中間発表

探究
Day

生徒探究
発表会

step1

振り返り

step7

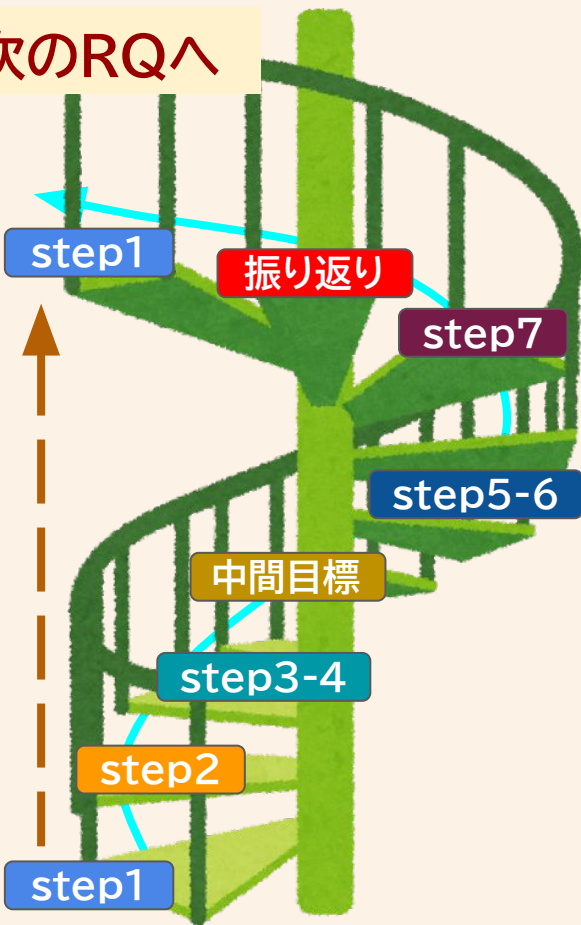
step5-6

中間目標

step3-4

step2

step1



ゼミ発表までの予定(普通教室系グループ)

5/21	木	ゼミ発表教室割発表
5/28	木	ゼミ発表要項説明 ① (スライド作成方法)
6/11	木	ゼミ発表要項説明 ② (評価)
6/25	木	スライド8割以上完成 → 指導教員に見せる
7/ 2	木	スライド完成 (これ以降は微調整)
7/ 9	木	リハーサル (原稿を見ないで話せるよう練習)
7/16	木	ゼミ発表

ゼミ発表 (7/16)

【スライド発表】 1チーム **発表: 5分** **質疑応答: 2分**

順調

手戻り

研究計画書
(1)-(4)部分

- 研究テーマの説明
- 研究背景 (研究動機や先行研究)
- リサーチクエスチョン
- 仮説と検証方法

研究計画書
(5)(6)部分

- 研究結果
- 考察・結論

前年度 : 今年度
= 2 : 3
を目安に構成

発表準備 スライド作成・発表原稿準備

タイトルスライドを入れて6~10枚程度

前年度：今年度 = 2：3

1

課題研究メソッド
p.142-144 ①

ブレ研究計画書兼報告書
(1) 研究テーマ

生成AIの社会的課題

テーマ

チーム番号： 920

全員の 組番号 + 氏名

チーム番号

メンバー

この3つを必ず入れる

2

課題研究メソッド
p.142-144 ③

ブレ研究計画書兼報告書
(2) 研究背景

研究背景

- ・ 初めて発表を聞く人に内容を理解してもらうために、背景となる現状と先行研究・事例を説明する。
- ・ 発表で用いる言葉の意味や定義、現状を表すデータ、先行研究・事例を紹介する。
- ・ これまでにどのような取り組みや研究が行われ、何が分かっているのか、何がすでに解決されているのかなどを説明する。

3

課題研究メソッド
p.142-144 ④⑤

ブレ研究計画書兼報告書
(3)① リサーチエスチョン
(3)② リサーチエスチョンの整理

リサーチエスチョン

- ・ 研究に取り組んだリサーチエスチョンの内容とそれが生じた背景を示し、研究の目的を示す。
- ・ この研究で考えられる社会や学術への貢献、社会的な意義を述べることで、聴衆の注目をより集めることができる。
- ・ プレゼンテーションの導入部分として、「この研究は必要だ」、「面白そうだ」というように興味をもってもらえるようにまとめる。

4

課題研究メソッド
p.142-144 ④⑤

ブレ研究計画書兼報告書
(3)③ 仮説

仮説と検証方法

- ・ リサーチエスチョンに対し、自分たちの設定した「仮説」(予想される仮の答え)をどのように設定したのかを説明する。
- ・ 先行研究・事例から根拠を持って仮説を示すことが大事である。
- ・ できるだけ複数の仮説を設定する。
- ・ どのような研究方法を用いてリサーチエスチョンの解決に挑むのか、具体的に述べる。
具体的でない例：「インターネットで調べる」、「アンケートを行う」

5

課題研究メソッド
p.142-144 ⑥

研究計画書兼報告書
(4) 研究方法

研究方法

- ・ どのような研究方法を用いてリサーチエスチョンの答えに挑んだのかを具体的に述べる。
(「本で調べた」「アンケートを行った」だけでは不十分)
- ・ ここで時間を割きすぎないよう、端的に述べる工夫が必要。
 - 順序を箇条書きにする。
 - 図や表を用いる。

6

課題研究メソッド
p.142-144 ⑦⑧

研究計画書兼報告書
(5) 研究結果
(6) 考察・結論

結果・考察／結論

- ・ 研究手法を実施した結果得られた定量的データ、定性的データをまとめ、考察・分析をくわえ、リサーチエスチョンに照らして、分かったことや分からなかったことを説明する。
- ・ 聴衆が理解しやすいように、スライドを工夫する。
 - 図や表などの活用
 - 注目して欲しいポイントを色線で囲むなど

最終スライドにて、本発表で引用・参照した文献をまとめて示す。

※詳細は課題研究メソッドp.176－177

- **本(日本語):** 吉川俊哉 (2011). 『大学とは何か』 岩波書店.
(著者) (発行年) (書名) (出版社)
- **論文(日本語):** 中野由美子 (1974). 「階層と言語 教育社会学における言語研究の位置づけ」
(著者) (発行年) (論文のタイトル)
『教育社会学研究』 29(0), 146-160.
(雑誌名) (巻数・号数) (論文のページ)
- **Webページ:** 文部科学省 (2012). 「大学改革実行プラン～社会変革のエンジンとなる大学づくり～」
(作成者) (公開年: 不明な場合は省略可) (Webページ名)
https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shisetu/022/shiryo/icsFiles/afieldfile/2012/09/19/1325116_7.pdf
(URL)
2020年11月2日.
(アクセス日)

スライドチェックリスト + 支援Gem

SSII 専門的課題研究 ゼミ発表 スライドチェックリスト

チーム番号		
	確認	項目
本文		タイトルはその研究の内容を適切に表しているか？
		所属・名前が明記されているか？
		導入となる序論や研究背景が示されているか？
		一般的でない言葉や、意味や定義があいまいな言葉を説明しているか？
		リサーチエスション（問い）は示されているか？
		仮説が根拠とともに示されているか？
		研究方法が具体的に示されているか？
		用いる研究方法是仮説の検証やリサーチエスションへの回答に適切か？
		引用文献・参考文献を各スライドに示したうえで、最後に正しくまとめているか？
		論理の流れがわかりやすいか？（ストーリーの一貫性）
		スライド1枚あたりの情報量は適切か？（詰め込みすぎでないか）
		発表の時間に対して、スライドの枚数や長さは適切か？
		不快な表現や差別的な表現が使われていないか？
		全体を通して何を伝えたいかが明確になっているか？
体裁		誤字・脱字がないか？
		フォントの種類が統一されているか？
		フォントの大きさは適切か（後方から見えるか）？
		「半角数字」と「全角文字や単位」の間に半角空白を入れているか？
図や表		図や表の活用、デザインも含め、見やすいものになっているか？
		図や表に番号・キャプション（説明）をつけているか？
		グラフの縦軸、横軸に名前をつけているか？
		軸の単位が書かれているか？
		凡例（図の中で使用する記号の意味を説明するもの）が示されているか？
		図や表の説明が本文（口頭説明を想定したスライド内）でなされているか？
		引用先（出典）を明記しているか？



研究発表スライド作成支援
Gem



研

研究発表スライド作成支援

スライドをPDFファイルとしてダウンロード
→ 「**ファイルをアップロード**」でPDF添付



ファイルをアップロード



ドライブから追加



NotebookLM



ツール

025ゼミ発表

PDF PDF

この研究発表スライドの評価をしてください。|



Canvas x

相互評価・自己評価

相互評価(7/16実施)



【SS I】発表会相互評価フォーム

他のチームの発表を評価
発表を聞きながら、評価をして、
発表が終わるごとに送信をする。

自己評価(～7/17)



【SS I】発表会自己評価フォーム

自分のチームの発表を評価
発表会后、できれば当日中に
発表を振り返り送信をする。

今回のゼミ発表の評価

研究活動の
進捗状況の
自己点検

発表
スキル
向上

研究計画書(1)-(6)部分

プレゼンテーション技術

観点/SSコンピテンシー	レベル4 (卓越している)	レベル3 (十分できている)	レベル2 (概ねできている)	レベル1 (改善を要する)
1. 構成の論理的一貫性 批判的思考力 表現力	目的から考察まで論理的に固く結びつき、一貫したストーリーを構成	全体の流れは明確だが、一部に論理の繋がりが弱い箇所がある	必要な要素は含むが、関係性の説明が不足し構成が断片的	各要素が点在し、論理的な構成がなく全体像を掴めない
2. 課題の背景と意義への理解 未知への好奇心 社会に関わった姿勢	知的好奇心と社会背景が結びつき、多角的に課題を捉えている	意義は説明できるが、自身の問いを明確にしている点が見えない	意義の説明が抽象的で、なぜ自らが取り組む必要があるかが不明確	研究の意義や問題意識に至った背景が説明されていない
3. 問いと仮説の適切性 仮説構築力	先行研究に基き、独自の問いと仮説を構築し、検証可能な仮説を設定している	先行研究と仮説には課題のつながりが見えない	問い、仮説が不明確	検証可能な仮説として具体化されず、研究の軸が不明確
4. 研究方法の妥当性 手続的知識 情報活用能力	最適な方法を比較検討し選択、手順を具体的にかつ明確に説明	適した方法を選択できるが、選択理由の吟味が不十分	方法は示すが手順の説明が曖昧で、誰でも実施できない	方法が仮説検証に繋がらず、信頼できるデータを得られない
5. 結果の解釈と考察の妥当性 批判的思考力 メタ認知能力	複数視点で客観的に分析し、研究の課題と今後の展望まで言及	論理的な考察はできるが解釈が一面的で、課題の分析に至らず	結果の説明はできるが考察不足で、単なる結果報告に留まる	結果と意見が混同し、客観的事実に基づく考察がない
6. 発表の明瞭性 表現力	聞き手を常に意識し、言葉・声・視線まで工夫した対話的発表	流れは分かりやすいが表現が単調で、聞き手への工夫不足	原稿に沿って説明するが、聞き手を意識せず一方的	資料を読むのみで声量不足等もあり、内容が伝わらない
7. 視覚的表現のデザイン性 表現力 情報活用能力	図表・配色点を強調し、聞き手を誘導している			字中心の構成で視覚的工夫がなく、理解を妨げている
8. 質疑応答における対話力 批判的思考力 協働する力	質問意図を汲み取り、客観的に捉え直し根拠をもって応答	質問を理解し考えを答えるが、データとの関連付けが弱い	質問意図を正確に理解できず、一般的な意見での回答に終始	感情的応答や「分かりません」のみで、対話を深めない

2. 課題の背景と意義の理解

レベル4 (卓越している)	知的好奇心と社会背景が結びつき、 多角的根拠で意義を示す
レベル3 (十分できている)	意義は説明できるが、 自身の問題意識との繋がりが不十分
レベル2 (概ねできている)	意義の説明が抽象的で、 なぜ自分に取り組むのかが不明瞭
レベル1 (改善を要する)	研究の意義や問題意識に至った背景が 説明されていない



社会に開かれた姿勢



未知への好奇心

3. 問いと仮説の適切性

レベル4

(卓越している)

先行研究に基づき本質を捉えた
独創的で検証可能な仮説を設定

レベル3

(十分できている)

検証可能な仮説はあるが、
先行研究調査や独創性に課題あり

レベル2

(概ねできている)

仮説はあるが論理的根拠が弱く、
検証方法が不明確

レベル1

(改善を要する)

検証可能な仮説として具体化されず、
研究の軸が不明確



仮説構築力

6. 発表の明瞭性

レベル4 (卓越している)	聞き手を常に意識し、 言葉・声・視線まで工夫した対話的発表
レベル3 (十分できている)	流れは分かりやすいが表現が単調で、 聞き手への工夫不足
レベル2 (概ねできている)	原稿に沿って説明するが、 聞き手を意識せず一方的
レベル1 (改善を要する)	資料を読むのみで声量不足等もあり、 内容が伝わらない



表現力

7. 視覚的表現のデザイン性

レベル4

(卓越している)

図表・配色を緻密に設計し、
要点を強調して説得力を高める

レベル3

(十分できている)

図表を用いて整理されているが、
重要情報の強調が不十分

レベル2

(概ねできている)

図表はあるが配置や情報量の調整が
不適切で理解しにくい

レベル1

(改善を要する)

文字中心の構成で視覚的工夫がなく、
理解を妨げている



表現力



情報活用能力

「探究ノート」への記録を！

Classroom 「【全般】 探究ノート」

高校46期 SS I・II (総合探究)		探究ノート					
チーム番号		クラス	1 -	番号		氏名	
共同研究者							
↑ チームメンバー全員の組番号と氏名を記載 (例: 640 芝浦 太郎 710 柏 花子)							
【日々の活動記録】 (①を授業開始時に、②③を授業終了時に記入)							
日付	活動記録 ①今日の予定・目標 ②本日の活動内容 ③次に行うこと、次までに行うこと						
10/23	①今日の予定・目標 ②今日行ったこと ③次に行うこと、次までに行うこと						
10/30	①今日の予定・目標 ②今日行ったこと ③次に行うこと、次までに行うこと						
11/13	①今日の予定・目標 ②今日行ったこと ③次に行うこと、次までに行うこと						
11/20	①今日の予定・目標 ②今日行ったこと ③次に行うこと、次までに行うこと						
11/27	①今日の予定・目標 ②今日行ったこと ③次に行うこと、次までに行うこと						
12/4	①今日の予定・目標 ②今日行ったこと ③次に行うこと、次までに行うこと						

★作成のポイント★

毎回、**活動記録**は必ず書く！

①今日の予定・目標

授業開始時

②本日の活動内容

授業終了
5分前

③次に行うこと

個人でまとめるワークシートで、
その他の使い方は自由です。